

伊達学園 授業でござる 指導案

1 お金が動く の巻 1/4 時間

[ねらい]

物やお金には限りがあることに気付き、その使い方に関心を持つ。(関心・意欲・態度)

限りある物や金銭の有効な使い方について理解する。(知識・理解)

形態	PC 画面	学習の流れ ★指導上のポイント
一斉にクリックさせながら進む	<p>1. </p> <p>2. </p> <p>3. </p> <p>4. </p> <p>5. </p> <p>5. </p>	<p>1 <u>お金はどんなことに使っているか。自分のお金の使い方を振り返らせる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 気をつけていることや失敗談等、思いつくまま発表させる。 <p>2 <u>課題 [みんなの家ではどんなことにお金を使っているのかな。考えよう!]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 全員で課題を読み、共有化する。 ★ 支出項目については初めての学習なので、全体で話し合わせる。 <p>3 <u>「消費」「消費者」の意味を知る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 「消費」「消費者」の言葉の意味について理解させる。 <p>4 <u>千代ちゃん家族の場合を考える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 家族が働いて得た金額（全国平均の30万円※を採用）であること、限りがあることに気付かせる。 ※国税庁民間給与実態統計調査平成27年分 (1人あたりの平均給料356万円) <p>5 <u>収入と支出について考える。</u></p> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 収入と支出の言葉を理解させる。 ★ 支出項目について、再度まとめりとしても捉えさせる。 ★ オール電化の家も多いので、ガスについて触れる。 ★ 生活には、いろいろな経費が掛かることを実感させる。

一斉にクリックさせながら進む

6.



7.



8.



6 支出をするとお金が減少することを実感する。

★ 収入と支出のバランスでは、労働と消費によってお金がバランスよく動くことにも触れる。

7 家族のために、どのようなお金の使い方が望ましいか考える。

★ 予備の5万円は家族の為の1ヶ月分であることや5,000円の価値について補足説明をする。

★ 教師師範で、動かし方を説明する。

→ 使い道を選び、右のお皿にクリック&ドラッグで移動させると左のお皿からお金が無くなっていく。「元にもどす」ボタンを押すと、最初から選び直せる。5万円分(5,000円×10回)をクリックしたら「次の画面へ」とメッセージが出る。

→ プリント①を配布。(事前に印刷をしておく)何を選んだか、児童にメモをさせる。早く選び終わった児童には、選んだ理由をプリントに記入させる。

8 収入と支出について感想を書く。

(グループ発表や全体での意見交流に発展させてもよい)

● 物や金銭の大切さに気付き、家族の一員としてその使い方に関心を持っている。

(関心・意欲・態度)

● 家族の収入には限りがあり、有効な使い方について理解している。

作成：「授業でござる」検討会